

国分寺市の信州人



令和2年新年会のご案内

令和元年の師走となりました。10月22日に行われた即位礼正殿の儀では平安絵巻さながらの儀式に目を奪われました。時代が確実に動いていくのを感じます。

さて年が明けると、いよいよ2020東京オリンピックの年。日本人選手の活躍を期待するとともに、来年は穏やかな年となることを願って恒例の新年会のご案内を申し上げます。

皆さまお誘いあわせの上、多数のご参加をいただきますようお願い申し上げます。

記

- 1 日時 **令和2年1月12日(日)** 午後1時から (会場受付12時半)
- 2 場所 **中国料理 龍栄** (本多2-3-1)
電話 042-321-0005
- 3 催し物 **「ホルンと電子オルガンのしらべ」**
ホルン奏者 今瀬康夫氏 (長野県人会会員・本多)
国立音楽大学卒業 ロシア国立極東芸術大学名誉教授
国内海外を問わず幅広く活動中
電子オルガン奏者 榎本美那子さん
国立音楽大学応用演奏学科卒業 ヤマハエレクトーンデモンストレーターとして幅広い演奏活動をされている
お二人によるコラボレーションのほか、エレクトーンソロ演奏を含め4~5曲を演奏される予定です。どうぞお楽しみに。
- 4 懇親会 開会あいさつ、長寿祝いのあと宴会を始めます。この間、新入会員紹介をします。皆さまの歓談中、榎本美那子さんが演奏していただきます。最後は参加者全員による合唱でお開きです。
- 5 会費 4,000円
- 6 申込み 参加希望者は12月28日(土)までに地区委員にお申し込みください。
地区委員は人数・名前を総務委員(山石 042-301-2871)まで連絡をお願いします。(最終確認1月5日)
- 7 その他 会場受付開始は12時半からです。座席は原則フリーです。(一部指定あり)
なお1月6日以降の参加取り消しは、会費分を負担していただくことがありますのでご注意ください。



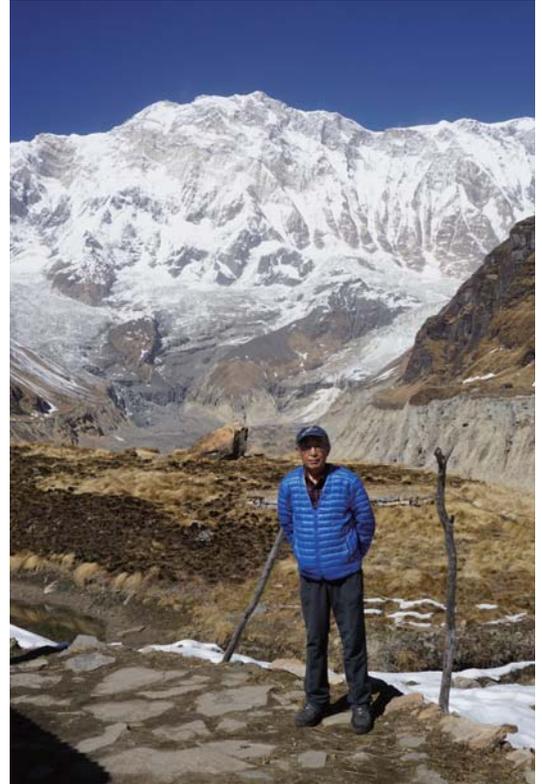
山と写真と私

善光寺平の南部に位置する旧埴科郡埴生村（現千曲市）が私の生地です。東は鏡台山、西に冠着山（別名姨捨山）を望みその中央を千曲川が流れ夏は川で泳ぎ、冬には結氷した川原の池に下駄スケートで遊び、季節を問わず山に入っては木登りや手造りの橇（そり）で沢下りに夢中になり篠ノ井線を3重連の蒸気機関車が煙を吐きながら姨捨駅に登って行くのがお昼の合図でした。中学生の頃、初日の出を拝みに登った冠着山から遠く朝焼けの雪を冠った北アルプスの峰々が目に入った時のあの感動が私の山への憧れの第一歩だったと思います。高校一年の夏、学校に内緒で北アルプスの表銀座に登ったのが最初。以後、何回となく休暇を取っては親譲りのカメラを抱えては、北アルプスや北信の山々を季節を問わず歩き、スナップ程度ですが写真撮影を楽しんでいました。山岳写真に興味を覚えたのは偶然に新宿でプロの山岳写真家の写真展に出会ってからです。以後、苦勞して買い求めた自前の2台の機材と交換レンズに三脚を携帯し、かなりの重量での山行きを繰り返してきました。

3000M級の北アルプスの山々から始まり、ヨーロッパアルプスの4000M級の山容とお花畑に憧れ、オーストリア、フランス、スイス、イタリア等山々を撮って行くうち、姿の違う南米の山に興味湧き1日のうちに四季が在ると言うチリとアルゼンチンにまたがる広大なパタゴニアに足を踏み入れ、更に中国、チベットなども尋ね、ニュージーランドのMt.クック、アラスカのオーロラと6000M級のデナリを眺め、世界の屋根8000M級が並ぶヒマラヤに抱かれたネパールで、神々が棲むという氷と岩と風のヒマラヤ巒（ひだ）の絶景が眼前に広がる光景に何とも神々しく息をのむ美しさにただ呆然とし声も出ませんでした。

高山病に悩まされながらエベレスト街道から望む夕景に会えたのはやっと四回目の秋に訪ねた時でした。夕方になると常に谷から湧き上がる雲に遮られていた山々が一瞬晴れ上がり赤く夕日に染まったエベレストとローツエが姿を現しその美しさに感動し撮影が出来たのは何物にも代え難い感激でした。空気が薄く3歩進んでは休み又休みの歩行を繰り返し撮影ポイントでフレーミングを定め、呼吸を止めシャッターを押すのですが、苦しくて隣の人が酸欠で倒れてしまったことも在りました。散々苦勞し楽でもない山に登り、折角撮影しても満足のいく作品には至りません。近年デジタルカメラが主流を占め綺麗な作品が発表されておりますが、新技術について行けず、やはり使い慣れたフィルムカメラの方が好きです。「On the earth」をテーマにしての旅はまだまだ続けて行こうと思っております。機材は買っても腕は買えません。いつまでたっても快心作に程遠いですネ。

〔写真はアンナプルナ1峰（8091M）とBC（4130M）にて〕



2018年12月に県人会に入会したばかりの新人です。昭和17年生まれの77歳です。国分寺に住んで57年になりますが、当時の地名は国分寺町殿ヶ谷戸。いい地名だナーと一度は思ったものの、ちっぽけな駅の南口改札、大きな松林がうっそうと茂る駅前を見て、とんでもない所へ来ちゃったナーと思ったものでした。

とはいうものの、私のふるさと旧浅科村は吉幾三の歌ではありませんが何にもない佐久の田舎です。浅間山の「浅」と蓼科山の「科」を取り、中学校の時、3村が合併して誕生しました。そこの小部落の農家に生まれ育ちました。

つづら折りの峠(瓜生坂)を越えた佐久市望月(旧望月町)が一番近い大都会で、映画館や銀行があり、あこがれの町でした。幼いころには、大人が



望月に映画を見に行ってきたという、その人はすぐに村中の有名人になったほどです。その楽しかった青春の町・望月も過疎化の波には抗しきれず、母校の望月高校も廃校とかで寂しい思いをしています。

生まれ育った旧浅科村は佐久平の一角で特に「ごろべえ米」は有名です。江戸時代の吉宗のころに、市川五郎兵衛(群馬県人)が蓼科山から用水を引いた新田で収穫されたもので、今でも軽井沢のアウトレットで「おむすび」が売られています。新幹線の佐久平駅から車で数分のところに市川五郎兵衛記念館があり観光コースにもなっています。

幼いころから馴染みの浅間山、蓼科山、八ヶ岳、荒船山、遠くに北アルプスを望む山並みは、SLに乗って上京したばかりで先行きが見えない私の背中を押してくれました。あの山並みの向こうには豊かな東京があると思いついて描いていた大きな夢は、未だにSLの棚の上に置いたままになっているようです。今では高速道路を使えば車なら2時間ほどで帰れますが、やはり浅間山やふるさとの田園風景が目飛び込んでくると懐かしさが込み上げてきます。毎年の春と秋の温泉での高校クラス会が楽しみです。[写真は朝焼けの浅間山]

<新会員紹介>



地 区	氏 名	住 所	電 話	出 身 地
-----	-----	-----	-----	-------

秋晴れのもと国分寺まつりが賑やかに開催



◇11月4日に行われた国分寺まつりには長野県人会も出店。おやきや信州りんごなどを販売、千客万来の大賑わいでした。



◇長野県人会同好会のテクテク会は9月16日、20名が参加して異国情緒豊かな横浜を訪ねました。シーバスで横浜港クルーズを楽しんだ後、赤レンガ倉庫で記念撮影とショッピング。山下公園では「氷川丸の船内見学」や「赤い靴を履いた女の子像」付近を散策し、潮の香漂う緑豊かな公園で至福の時を過ごしました。昼食は中華街で広東料理を堪能、大満足のテクテク会でした。

◇第6回長野県人会白樺文化交流展が11月15日から19日まで本多公民館で開催されました。毎回、新たな出品者が増え、今回は29人が出展、来館者の目を楽しませてくれました。油彩画、水彩画、ペン画、水墨画、書道、写真をはじめ手芸や盆栽など匠の技を駆使した作品がずらりと展示され県人会の皆様の多才ぶりをいかに発揮する見事な展示会となりました。次回はさらに多くの方々の参加をと意気盛んです。



<編集後記>

ついこの間令和になったばかりなのに、早くも会報3号目、あっという間にもう年末。国分寺まつりは晴天に恵まれ大変な盛況の中で無事終了。まつりにご参加のみな様お疲れさまでした。今年も異常気象のため各地で災害が相次ぎ、我がふるさと長野も千曲川決壊ですっかり有名になってしまいました。(ありがたいはないが・・・) そんな今年、楽しい話題もいくつかありました。渋谷日向子の全英女子オープン優勝、ラグビーワールドカップでのベスト8、すごく盛り上がりましたね。来年はいよいよ東京オリンピック。金メダルラッシュで今年以上に盛り上がりたいたいです。